

Contents

- 02 目次
プロローグ Vol. 21
- 04 **特集 大学連携**
未来のリーダーをつくる
学びが羽ばたく
06 日本と世界をつなぐ留学生
ともに前進を
10 知を結集して道路や橋を守る
ミャンマー／ザンビア／ラオス
14 世界レベルの研究ができる大学へ ミャンマー
16 長く築いた信頼でたがいの教育力を上げる ザンビア
- 現地に根づく
18 40年にわたる協力が成果を生む ケニア
20 積み重ねた成果を生かす ザンビア／ケニア
22 成功も教訓も日本の経験を留学生へ
- 24 JICA海外協力隊がゆく Vol. 20
タンザニア
- 26 **ザ・研修①**
実践的な指導ができる人材を育てる
- 28 **地球ギャラリー Vol. 142 モンゴル国**
写真・文●松尾 純 フォトグラファー
未来を担う一歩
- 34 **教えて! 外務省**
知っておきたい国際協力②
- 36 JICAカレンダー
- 38 広報室から、プレゼントほか
- 39 JICA PRESS
- 40 **わたしが見つけたSDGs Vol.22**

*掲載されている情報等は取材当時のものです。



神戸大学とアイルランガ大学(インドネシア)の医療分野の取り組み(2012年)。JICAの大学連携を機に現在も交流が続く(写真:谷本美加)。



信頼で世界をつなぐ
Leading the world with trust

プロローグ Vol.21

人のつながりが 護るもの

文●さだまさし

「風に立つライオン」という歌を発表したのは1987年。発売当初はまったく聴いてもらえない。歌でしたが1990年代に入り、青年海外協力隊員のみなさんが「自分の応援歌だ」と口ずさんでくださるようになり、海外で暮らす日本人、商社マン、外交官に広がっていき、また、やがて2000年代に入ってから、日本の医療従事者からの評価が上がり、この歌は30数年の時を超えてさだまさしの代表曲の一つになりました。

僕が20歳の頃、ケニアの長崎大学熱帯医学研究所から帰ったばかりの医師の語るいきいきとしたアフリカに惹かれて以来、完成までに15年掛けた歌でした。俳優の大沢たかおさんの熱烈な依頼に応え、僕が同名の小説を書き上げたのが13年。映画『風に立つライオン』公開が15年。なんとアフリカに憧れてから映画まで43年かかったのです。この年、生まれて初めて訪ねたナイロビで、貧民街に単身で平然と乗り込み、身体の不自由な子どもたちを護る日本人女医の姿に感動しました。そこで、海外で頑張る日本人医師や教育者を支援しようと、僕は「風に立つライオン基金」(17年に公益財団法人)を立ち上げました。人々のご寄附で成り立つ小さな基金ですが、途上国で頑張る日本人の医療従事者、教育者(現在8団体)をささやかに支援しています。

また、災害が起きるたびに、懸命に災害支援も行ってきましたが、今年に入ってから新型コロナウイルスの感染拡大に接し、これはもう「有事」であると心を一にして、僕らはまず医療物資を購入し、足りなくて困っている医療機関を支援しました。

しかしこの活動には資金力の小さな僕らには限りがあります。もともと僕らの目指すところは、弱い立場の人を、支援している人々を、支援するのだという原点に



イラスト●中村知史

立ち帰り、現在は感染の第2波、第3波に備え、福祉・介護崩壊を防ぐための活動を始めました。
日本の小さな介護施設は、介護士さんたちの自己犠牲のような「ボランティア」の志に頼っているのが現状です。医療に詳しくない方も多いためです。そこで「基金」から医師と看護師を派遣し、感染症対策の指導を行っています。

介護士さんたちの中には、「ネットには情報が溢れ過ぎていてどれが正しいかわからず、入居者を護るために何をすればよいかわからない」という方が沢山いらっしゃることわかりました。レクチャーの後でお話を伺うと、「やっとなんかできる」「入居者を護る勇気が湧いてきた」という声ばかりです。

こうした活動はジャパンハート(特定非営利活動法人)のみなさんのお力を借りて行っていますが、日本中の介護施設からの依頼が急増して派遣医師の数が足りないの、同じく非営利法人であるAMDAや国境なき医師団のみなさん、何よりわが基金に自ら登録して下さっている「風の団、専門団(医師・看護師)」のみなさんにお願いをし、ともに垣根を越えて共同作業を行う「チャンボン大作戦(笑)」を開始しました。

福祉・介護崩壊を防ぐことは日本を護ることだと信じ、基金の広報・募金活動も「大切な仕事」と思って必死に頑張っているところです。僕らに、そして日本や世界を護るために頑張っている人たちに、これからもどうぞみなさんの力をお貸しください。

さだまさし
長崎市出身。シンガー・ソングライター、小説家。1973年にフォークデュオ、グレープとしてデビュー。76年ソロデビュー以来、通算4,400回を超えるコンサートのかたわら、小説家としても『解夏』『風に立つライオン』などを発表。NHKテレビ「今夜も生でさだまさし」のパーソナリティとしても人気を博している。2015年8月、風に立つライオン基金を設立し、さまざまな助成事業や被災地支援事業などを行っている。20年5月20日、通算46枚目となるオリジナルアルバム『存在理由～Raison d'être』をリリース。

*関連記事がp.20-21にあります。